（様式２）

「ちゅらゆいづくり」関係事業

令 和 ７ 年 度 事 業 計 画

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| １　事　業　名 |  | 予算額　　　　 |
| 千円 |
| ２　目　　　的 |  |
| ３　内　　　容 |  |
| ４　実施時期 |  |
| ５　効　　　果 |  |
| ６　備　　　考 |  |

**（様式２　作成例）**

「ちゅらゆいづくり」関係事業

令 和 ７ 年 度 事 業 計 画

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| １　事　業　名 | 第19回沖縄県子ども地域安全マップコンテスト(継続) | 予算額　　　　 |
| 504千円 |
| ２　目　　　的 | 児童自らがフィールドワークをすることにより、地域内の危険な場所や安全な場所を探し出して、地図を作製する地域安全マップの取り組みは、犯罪の起こりやすい場所や、犯罪の起こりやすい時間帯等を察知する能力を子ども達に身に付けさせる効果がある。この取組を県下に普及促進させることにより、犯罪から児童を守ることを目的として、地域安全マップコンテストを実施する。 |
| ３　内　　　容 | (１)　対象　　　県内の小学生(２)　審査基準　ア テーマ性(子ども自身が犯罪から身を守るテーマとなっているか。)　イ ビジュアル性(色、写真、イラスト等を活用し分かり易いか。)　ウ 教育効果性(安全な場所と危険な場所の判断基準が示されているか。)　エ 地域浸透性(しっかり地域を調べているか、地域住民と交流したか。)　オ プライバシーとトラウマへの配慮(プライバシーや被害による心の傷に配慮されているか。) |
| ４　実施時期 | （１）募集 ４月下旬から９月初旬（２）コンテスト審査会　　　９月中旬（３）表彰式　　　１０月中旬 |
| ５　効　　　果 | 「子ども地域安全マップコンテスト」を全県的に実施することにより、子ども達への安全教育の普及促進が図られるほか、保護者や学校、地域へマップづくりの普及促進を図ることによって、子ども達をはじめ、マップ作りに携わる方達の①危険回避能力、②コミュニケーション能力、③地域への愛着心、④非行防止能力、⑤大人の防犯意識の向上などが期待される。 |
| ６　備　　　考 |  |